



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 38 号
2012年1月20日
編集兼発行人
藤森 好則

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



「新年の日立久慈漁港」

撮影者：岡崎 稔
撮影日：平成 24 年 1 月 2 日
カメラ：NIKON、f7.1、1/280 秒
焦点距離 41mm、ISO160、手持ち
場 所：日立港内・久慈漁港
撮影余話：昨年は、3 月の東日本大震災で当漁港も、漁船の損壊、漁具の流出、液状化による地盤沈下と岸壁損壊、更に、原発事故の放射能汚染問題も加わり、大変な被害を被った。
そんな中であって迎えた新年に、漁業の安全と豊漁を祈念する大漁旗の掲揚は例年より少ないが、復興に取り組む漁師達の強い意気込みが感じられた。強風でなびく大漁旗が青空に映える姿に、元の活気あふれる漁港への復帰を願って止まない。

新年を迎えて



親睦から社会貢献へ

支部長 佐藤 一男

明けましておめでとうございます。昨年は未曾有の大震災にみまわれ、大変な一年でした。その復興も十分見えぬまま、新年を迎えることになりました。

自宅をのみ込み工場を破壊した大地震・大津波は、私たち社友の拠り所であった「東暁館別館・世外庵」をも破壊し使用不能にしまいました。

しかし、この艱難辛苦に堪え、新しく生き返ろうと懸命に努力されている会員並びにご家族の皆さんに対し心からの声援を送りたいと思います。

今年は昇運の辰年です。どんな暗い闇夜でも朝には燦然と輝く太陽が昇ることを信じていものです。

私たちの活動拠点も日立事業所となりの旧日立木材地所(株)2階に内定しました。新拠点を足場に、私たちの活動理念を「親睦から社会貢献」へ変えていく時代がきていると確信します。

地域の中であって、

- ・子供たちに尊敬され、頼られるおじさんになろう
- ・子供たちに声をかけ、ときに叱り・褒めるおじさんになろう
- ・私たちの体験と技で、子供たちの夢を広げてあげよう

次の時代を担うのは今の小中高生たちです。社友

クラブこそ、この子供たちを育てる土台にならなければなりません。

私たちが健康に留意し、明日のまちづくりに貢献しようではありませんか。

最後に、皆様をはじめご家族のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

茨城支部からのお知らせ

*第 60-4 回 日立社友クラブ理事会報告

開催日：平成 23 年 12 月 6 日(火)
議 事：会員候補から 34 名が入会され、会員数 5,161 名になった。

*第 24-1 回 茨城支部役員会報告

開催日：平成 23 年 12 月 19 日(金)
議 事：
・昨年 10 月の本部総会の異動に伴い、支部では、本年 5 月の支部総会をもって、佐藤支部長、長島副支部長が退任し、後任は支部長に久野勝邦氏、副支部長に谷口正俊氏が内定した。
・新入会員候補 2 名の入会が承認され、会員数は 1,077 名になった。

茨城支部総会のご案内

平成 24 年度第 110 回茨城支部総会の開催を以下に予定しています。昨年は大震災により中止を余儀なくされましたので、2 年ぶりに皆様との語らいを楽しみに、多数のご参加をお待ち申し上げます。

1. 期日：平成 24 年 5 月 25 日(金) 11:10~14:30
2. 会場：ホテル天地閣

★詳細内容は別途後報致します。

個性ある自分流の字で書を楽しむ

《白い紙をまっ黒な墨で染め抜く》

小宮山 豊 (雅号 千雲)



会社に勤めていた頃、毎年職美展が開催され、たまに書作品を出すことになりました。書道部の方に

私の書道歴

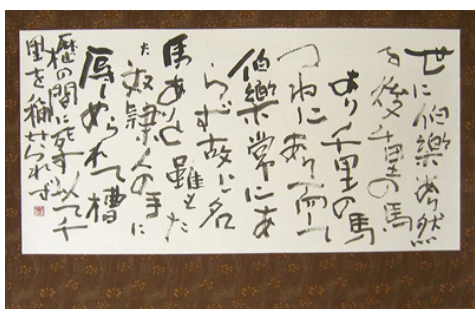
一九九一年に多賀駅近くの臨池会系の書道塾に入会し、主に競書で勉強しました。毎月規定課題と自由課題の作品を作り、出品して昇級を競いました。四年掛けて、やっと四段まで昇級したが、一九九五年に東京に単身赴任となったのを機会に東京の書道学校に入って勉強しようと決めました。たまたま、新聞広告に「二年間で師範に」を見つけて入会しました。この学校は規模も大きく、先生は三〇名ほど、生徒は多分一〇〇人以上いたように記憶しています。にもかかわらず指導は徹底した個人指導でした。この学校も競書方式で規定と自由課題の作品を作って提出し、昇級を競う方式の指導を受けました。そして、二年間で師範の資格と雅号「千雲」をもらいました。

お手本を書いてもらい苦労して書いたが、上手く書けませんでした。展覧会に貼り出された作品を見たときの恥ずかしさは今も脳裏に残っています。何とか「上手く書きたい」一心から、書道教室に通い始めました。

だ、「デフォルメ」だのハイレベルの話をしていました。私は専ら「上手い字」を書くことに勢力を注いだかと思うような作品は出来ませんでした。そんな時東海村で書道展があり現在指導を受けている山口先生と巡り合い、二〇〇一年一月より指導を受け現在まで続いています。

山口書道塾で書の楽しさを知る

山口先生から最初に、書道美術館や筆硯紙墨の製作現場に行き本物を直接見ることを勧められました。



平成 19 年 11 月 東海村文化祭 中川一政の作品を臨書 「千里の馬」 34×68cm

早速、国内では新潟市の会津八一美術館、真鶴町の中川一政美術館、山梨県市川大門の大門碑林、成田山書道美術館など。海外では中国の西安碑林、漢詩「楓橋夜泊」で有名な蘇州・寒山寺、桂林の桂海碑林など主だった書道美術館、碑林を見て回りました。

筆硯紙墨の作業現場として、奈良市の古梅園の墨工場や、たった一人で筆をつくる工場も見てきました。次に教えられたことは毎日、三十分の臨書のお稽古でした。これは残念ながら実行できておりません。



平成二年三月 第一回山口塾書道展 出展作品「乾坤一戲場」一三五×三五cm

通常、私たちは書体を楷書、行書、草書、篆書、隸書のいわゆる「五体」に分けます。山口塾でもこれら五種類の書体を勉強しています。

とはいっても、時間的にも制限があります。そこで、中国や日本の歴史に残る有名な書家(王羲之、褚遂良、顔真卿、孫過庭、光明皇后の樂毅論など)の作品を臨書(手本と同じに書くこと)しております。最近では中国の包世臣の草書を勉強しています。

山口先生の指導を受けるうちに、美しい字(上手い字)よりも「個性のある自分流の字」で書くこと、「書で自己を表現すること」に関心を抱くようになりました。我々日本人が美しい字(均整美)を追い求める理由は近代の教育書道が均整美を重視する公用書体をお手本にしてきた歴史があるからだという事も分かってきました。最近、画家で書家の中川一政や、中国の清の詩人で書家の何紹基の作品を見ていると、何となく楽しくなり時々臨書しております。

勇気をもって書道展に出展

東海村文化協会では年三回(アート



平成三年一月 東海村文化祭 出展作品「獨染」一三五×七〇cm

ロード展、芸術祭、文化祭)の展覧会を開催しております。これに、作品を出展することを十年以上続けています。これらの他に、平成二十一年と二十三年に山口塾書道展にも出展しました。最初のころは、村内の知っている人に自分の作品を見られる事が恥ずかしくて、出展しなければよかったと何回も思いました。最近はずうずうしくなっていて、鑑賞に来られた人の側に近付いて何をしゃべっているか聞くこともあります。少しでも褒めてくれると本当に嬉しいものです。

作品の制作には準備から制作、表装まで含めて一カ月半位掛けています。書作品は一発では気に入ってものは出来ません。五〇枚から一〇〇枚位書きます。

書道の深さと楽しさ

書家で有名な西川寧氏は「わたくしは生命の断層をこの目に見たいため『書』をかく。私は『書』によって、みえざる生と死の境を切るようにする」と語っております。

こんな心境には程遠い現状ですが、白い紙をまっ黒な墨で自分流の字で染め抜く楽しさをこれからも続けて行きたいと思っております。

尚、私の作品をホームページに掲載してあります。

小宮山 豊氏 連絡先

〒三一九・一一〇八

那珂郡東海村村松北一 一八一九

電話 029-282-4505

メール:

xw7y-kmy@asahi-net.or.jp

ホームページ:

http://www.asahi-net.or.jp

/xw7y-kmy/

リレー随筆 (38)

福島原子力の事故におもう

加藤 洋明

あれから9ヶ月、12月16日事故収束のステップ2の到達が宣言されました。予定より早まりましたが、事故発生以来、昼夜を分かたず職務に邁進された関係機関の人たちの努力のたまものと深甚の敬意を表します。特に、現地の厳しい環境下で復旧作業に従事しておられる人達ならびに家族の皆様にご心からお礼申し上げます。さらに、避難されている地元の皆様には多大のご迷惑をお掛けしております。かかる事態に立ち至ったことについて、原子力開発の初期から関わってきた者の一人として痛恨の極みであります。



東日本沿岸には、北から女川、福島第一、福島第二、東海第二の4つの原子力発電所があり、巨大地震、巨大津波により多大の被害を受けましたが、福島第一だけが何故あのような大事故を起こしてしまったのでしょうか。最近までの各種報告書をもとに纏めてみます。

福島第一では、地震発生により原子炉は自動停止、外部電源喪失するも非常用電源の作動で原子炉の冷却機能は維持されましたが、数十分後、津波による浸水により、長時間に及ぶ全交流電源と直流電源の喪失ならびに長時間に及ぶ非常用海水系の冷却機能の喪失により、多重の安全機能を同時に喪失したことが、大事故の要因と推定されています。

このような技術的問題の背景に、わが国の官・学・

産ならびにマスコミも含め関係部署が、あまりにもハードの信頼性の過誤や些細な手続き上の問題などの追及に明け暮れし、原子力発電の安全の本質を見失い、世界の潮流から全く遅れてしまったということがあるのではないかと思います。徹底的な見直しが必要です。

今後は、プラントの復旧を経て将来の廃炉へと続く遠い道を粛々と進めていかねばなりません。次に急を要するのは、周辺地域の適切な除染と避難している人たちの復旧です。国を挙げて真剣に取り組まなければなりません。



福島第一 1号機の原子炉建屋のカバー (放射性物質飛散防止用)

さて、世界のエネルギー情勢は3.11を境に変わったのでしょうか。今までも腰の引けていた二、三の国が脱原子力を明確にしましたが、エネルギー需要の増加、石油の枯渇と高騰、低炭素化の要求などの問題は些かも変わっていません。原子力の新設は無理ですが、既設ならびに建設に着手しているものについては、今回の事故の教訓を生かして根本的に安全性を向上させたいと、国民の信頼を得て順次戦列に復帰させることが、わが国の経済復興の面からも緊急の課題だと思います。さらに、これらの情報を世界に発信していくことが我が国の責務だと思います。

現役の皆さんに期待するところ大ですが、原子力OBの一人として、機会ある毎に激励、応援していきたいと思っております。日立社友クラブ茨城支部の皆様方のご理解を切にお願い致します。

同好会行事に参加して

「卓球クラブ」

渡部 稔



社友クラブに卓球クラブがあることを知って早速入会の許可を申請し、昨年5月に入会させて頂きました。又、卓球をやるなら新しい事に挑戦しようと思ひ、シェイクハンドにしました。昔はペンホルダーで、殆どフォアハンドで応戦していましたが、年を重ねると速球に対応できなくなってくるので、バックハンドに有利なシェイクハンドを覚えようと思ひました。入会してみても驚いたのは、皆さんがシェイクハンドで練習していたことです。皆さんも同じ様な考えでした。これから練習を重ねて早く試合が出来るようになりたいと思ひます。幸いにクラブのメンバーが優しく教えてくれますので感謝しています。卓球は対外試合が多く、練習に励みが出て年齢を疑う程、皆さん元気に頑張っておられ、また、会員同士のゴルフ同好会もあり、楽しめるクラブです。

「パソコン基礎講座」

大久保 和朗



「この道より我を生かす道なし、この道を歩く」実篤 81歳の時の作ですが、私はこの句が大好きで、会社定年退職後、迷うことなく“この道”を歩むべく海外留学に出かけました。そしてその後、現地企業への就職でしっかりと“この道”の方向を定めてから昨年帰国、早速現地で苦学したPC操作を根本から学ぶべくPC基礎講座に参加しました。講座では、世話人と講師の方々の熱心なご指導もあって、一年経った今、やっと講義内容が理解できるようになりました。私のPCには現

地の友人達から毎日15通前後のロングメールが届きます。それらの内容は大変素晴らしく国内の友人にも配信したいのですが、翻訳してもうまく編集出来ないことが多々あります。皆様のお役に立てる情報を自分で自由に翻訳、編集しお送りすべく、このPC基礎講座で更に勉強を続けたいと思ひています。

「専門講座」

佐々木 正祥



年齢68才にしてパソコンを始めた。動機は海外にいる愚息とのメールであった。市販入門書片手の独習は遅々として進まなかった。山田和夫さんの誘いでパソコングループに参加し、パソコンの基礎から指導して頂いた時は、地獄で仏の思いであった。インターネットの使い方から始めて次第にレポートを上げ、現在は専門講座でAcrobat XとFlash CS3を勉強中である。テレビや新聞を見ない日はあっても、パソコンに向かわない日はない。今や買い物、連絡その他パソコン無しでは、毎日が送れない。昔の職場からの依頼で技術図書の和訳や英訳をやっているが、パソコンは作業遂行の強力な武器になっている。現在勉強中のAcrobatでは、PDFで受信したデータをWordに変換し、それに和訳を付け、図表はトリミングして貼り付けるなど、勉強がすぐに役立つ楽しみを味わっている。

訃報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。

衷心よりご冥福をお祈り致します。

櫻井 邦夫	平成 23年 5月 25日	享年 90歳
鈴木 精	平成 23年 11月 21日	享年 91歳
薄井 正男	平成 23年 12月 12日	享年 91歳

同好会の行事ご案内（2月～4月）

1. 第51回研修会

【都市開発システム社水戸事業所見学】

東日本大震災復興対応のため延期していた日立製作所 都市開発システム社水戸事業所(旧水戸工場)を、エレベータ研究施設(G1 ｸｰ)を含めて見学します。

- ・開催日：平成24年3月8日(木)
- ・集合：勝田駅西口 9:40 集合
(昼食後13:20頃勝田駅西口にて解散)
- ・会費：1,000円(昼食・保険料他)
- ・募集人員：先着40名、申込期限：1月27日(金)
- ・申込先：小口 伊佐男 Tel/Fax:0294-37-3048
E-mail: isao_oguchi@lake.ocn.ne.jp

2. 第48回歩こう会【宍戸三山の枝垂れ桜】

昨年予定したコースですが、大震災により中止したものの再提案です。

水戸線宍戸駅前の宍戸三山の枝垂れ桜を観ながら、北山公園、芸術の杜公園を経由して笠間駅まで歩きます。皆様のご参加をお待ちします。

- ・開催日：平成24年4月11日(水)
- 雨天延期4月18日(水)

- ・集合：水戸線宍戸駅 9:57着 10:00スタート
解散は笠間駅です。JRを利用下さい。
- ・コース：水戸線宍戸駅→宍戸三山枝垂れ桜→北山公園→芸術の杜公園(昼食、休憩)→笠間駅 13:30解散 全長8Km 平坦地
- ・持参品：弁当、飲み物
- ・会費：200円(非会員はプラス300円)
- ・申込期限：4月4日(水)
- ・申込先：垣貞 玲吉 Tel/Fax:029-274-1727
E-mail: ryk888@pure.ocn.ne.jp

3. 第25回記念歴史探訪

【出羽の国(酒田・鶴岡)探訪】

桜の名所日和山公園、大富豪の本間家本部、即身仏の海向寺、明治時代の山居倉庫、藤沢周平記念館、庄内藩主屋敷等を探訪します。(一泊二日の旅)

- ・開催日：平成24年4月26日(木)～27日(金)
- ・宿泊：修験宿「宮田坊」
- ・バス時刻：勝田駅西口 6:10、日立駅海岸口 7:10
- ・会費：21,000円(予定)
(バス代・昼食代・宿泊飲食を含む)
- ・募集人員：40名(先着順)
- ・申込先：薄 浩八 Tel:0294-35-9121
Fax:0294-35-9125
E-mail: k-usuki@mwa.biglobe.ne.jp

4. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考	
		2月	3月	4月				
野鳥自然観察グループ	本宮公夫 0294-42-3576 motokimi@peach.ocn.ne.jp	20(月)			潤沼 高戸海岸 水沼・花園	9:00～ 12:00	参加費:¥200/回 原則雨天中止	
			19(月)					
				16(月)				
囲碁の会	日立地区 助川一弥 0294-24-3768 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	8(水)	14(水)	11(水)	(株)トキビル3F	10:00～ (9:30～)	参加費:3/14(水)の 大会のみ¥1500/回	
		22(水)	28(水)	25(水)				
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	16(木)	15(木)	19(木) 大会	大島コミュニテイ センター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700	
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	13(月)	12(月)	9(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1600/回	
		27(月)	26(月)	23(月)				
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	1、8、 15(水)	7、14、 21(水)	4、11、 18(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年	
デジカメクラブ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	6(月)	5(月)	2(月)	大久保 交流センター	13:00～ 16:30	参加費:¥200/回 昼食なし	
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	3(金)	2(金)	6(金)	大久保 交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途	
パソコングループ	HPの会	中村 進 0294-52-5525 ssm2332@hb.tp1.jp	7(火)	6(火)	3(火)	会瀬青少年の家	10:00～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む
	基礎講座	山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	14(火)	13(火)	10(火)	会瀬青少年の家	10:00～ 15:00	参加費:¥1400/回 昼食代含む
	勝田地区	渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	28(火)	27(火)	24(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	Acrobat X 勉強会	安田 出 0294-37-1959	15(水)	21(水)	18(水)	会瀬青少年の家	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	Flash CS3 勉強会	yasuda@i.email.ne.jp	23(木)	29(木)	26(木)	会瀬青少年の家	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む

*MM研は100回の節目で活動を終了しました。長い間のご支援をありがとうございました。

編集後記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。「個性ある自分流の字」で書道の奥深さ・楽しさを追求されている小宮山さんのすばらしい趣味に感嘆です。原子力

に関わった加藤さんの心痛は思うばかりです。安全性の向上で国民の信頼を得て、順次戦列に復帰させることが、我が国の経済復興の面から緊急の課題だとこの指摘、全く同感です。

藤森 好則